

「やさしい日本語」でコミュニケーション～お仕事編～ 出前講座

市では、日本人住民と外国人住民が互いに文化的な違いを認め、対等な関係を築こうとしながら共に生きていく「多文化共生」を推進するため、様々な事業を展開しています。その一環として、9月25日(水)に市内の企業へ「やさしい日本語」(※)出前講座を行いました。

※「やさしい日本語」

簡単な表現を用いたり、文の構造を簡素化する等して日本語に不慣れな外国人にも分かりやすくした日本語

(例:「高台に避難して」→「高いところに逃げて」)



▲やさしい日本語おきなわ:株式会社アソシエの皆さま



出前講座では、「やさしい日本語」の起源や特長について学んだ後、受講生20名がそれぞれグループを作り、日ごろ実際に会社で使っている文書を「やさしい日本語」に置き換えるワークショップを行いました。

各グループの発表では、特に置き換えが難しかった単語や表現を出し合い、正解が無いからその難しさを共有しました。受講後のアンケートでは、「これまでの自分の話し方は外国人にうまく伝わっていなかったということに気付かされた」や「外国人の立場や視点を体験することが出来た」等の意見が挙がり、今後の外国人対応について、課題や対策等を考える機会になりました。

市では今後も出前講座を計画中です。「やさしい日本語」に興味のある企業・団体等があれば、ぜひご連絡ください。

問合せ/市民協働推進課 平和・男女共同係 ☎893-4411 内線423

文化財に対する理解と愛着心を育む ●第28回ぎのわんの文化財図画作品展● 表彰式

10月6日、市内在住の小・中学生が文化財を描いた「第28回ぎのわんの文化財図画作品展」の表彰式が市立博物館で行われました。この図画作品展は、次世代を担う児童・生徒の皆さんに、市内の文化財を題材に描いてもらうことで、豊かな表現力を養うとともに、文化財保護の精神を培い、地域への愛着心を育むことを目的に毎年開催されています。



教育長賞受賞作品



中学生の部
「我如古ヒージャガー」
石神 みのりさん(嘉数中学校)



小学校高学年(5・6年)の部
「森の川」
宮里 頼佳さん(宜野湾小学校)



小学校中学年(3・4年)の部
「ししまい」
識名 るかさん(宜野湾小学校)